

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 芸術 音楽 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組
教科担当者： 堀野 由

使用教科書：（ MOUSA I （教育芸術社） ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			歌	器	創						
1 学 期	・楽典 【知識及び技能】 基本的な読譜の知識の習得 【学びに向かう力、人間性等】 読譜の知識を表現に結びつける	・ワークシート・副教材 ・楽譜の正しい読み方や書き方を身に付ける。 ・基本的な事項の復習 ・ソルフェージュ			○		・楽譜の構造を読み取り方を理解している。 ・簡単な譜面を書いてみるができる。 ・簡単な読譜の方法を身につけ、歌唱や器楽の表現に活かす。	○		○	8
	・歌唱 【知識及び技能】 作品にあった発声方法・言葉の発音・作品の背景の理解 【思考力、判断力、表現力等】 作品の魅力の感受、その表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む	・教科書・副教材 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌う ・校歌 ・'O sole mio ・Caro mio ben ・のぼら	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
2 学 期	・器楽 【知識及び技能】 ギターの基本的な演奏法の習得 メロディーを弾く・コード奏法 【思考力、判断力、表現力等】 ストロークを工夫し表現を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む	・ワークシート・副教材 曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して演奏する ・家路 ・サンタルチア ・木星 ・カントリーロード ・ルージュの伝言 ・なごり雪 他	○	○	○	○	・曲想とギター音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ・曲想と音色や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・合唱 【知識及び技能】 作品にあった発声方法・言葉の発音・作品の背景の理解 【思考力、判断力、表現力等】 作品の魅力の感受、その表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む 作曲家・作品の背景を学び、音楽文化の奥深さを味わう	・教科書・副教材 合唱による表現の特徴を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌ったりする技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌う。 ・ベートーヴェン 交響曲第9番	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成、歴史的背景を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18
3 学 期	・合唱 【知識及び技能】 作品にあった発声方法・言葉の発音・作品の背景の理解 【思考力、判断力、表現力等】 作品の魅力の感受、その表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む 作曲家・作品の背景を学び、音楽文化の奥深さを味わう	・教科書・副教材 合唱による表現の特徴を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌ったりする技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌う。 ・ベートーヴェン 交響曲第9番	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成、歴史的背景を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	15

・創作 【知識及び技能】 楽譜からリズムを正確に読み取る力を 育む 【思考力、判断力、表現力等】 グループで演奏方法などを創作し、 独自の作品を創造する 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しながら演奏する喜びを 味わう	・ワークシート ボディー・パーカッションでのリ ズム表現を通して音色や奏法、表 現を工夫し、他者と協働しながら 演奏する喜びを味わう	○ ○	・曲想と手拍子や足踏み等、音色や奏法との関わりについて 理解している。 ・創意工夫こらし、表現をするために必要な、曲にふさわし い奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識 して 演奏する技能を身に付けている。 ・音色、リズム、速度、テクニチュア、強弱、形式、構成を 知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受 したこととの関わり について考え、どのように演奏するかについて表現意図を もっている。 ・他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体 的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている	○ ○ ○ 3 70
---	---	------------	---	-------------------

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

单位数： 2 单位

)

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

いく態度を養い、豊かな情操を培う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考察し、主題を生み出し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主眼的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 芸術 科目 美術発展

单位数： 1 单位

使用教科書：

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映						
1 学 期	文化祭ポスターの制作 ＜デザイン＞ 【知識及び技能】 キャッチコピーの重要性、鑑賞者に与える効果について考えさせる。 レイアウトの効果、色彩計画の基本について教える。 【思考力、判断力、表現力等】 主題の生成、造形的な魅力を考えるところから、鑑賞者に訴える主題を自ら創造的に設定させる。またその主題を表現するのに適切な表現方法を探求するよう導く。 【学びに向かう力、人間性等】 デザイナーや他者の参考作品を鑑賞し、その作品の魅力を自己の創造活動に取り入れるよう導く。	○内外の巨匠作品や卒業生の参考作品から、グラフィックデザインの基本を教える。 ○クライアントの条件からポスターのアイデアを考えさせる。 ○レイアウト、色彩計画の役割を理解し、多くの人にアピールするポスターの詳細なプランを考えさせる。 ○完成度を高めるために意欲的に制作に打ち込むよう導く。 ○講評会を通して、作者の制作意図を理解させる。完成度の高い作品づくりの追究ができたか自己を振り返るよう導く。					【知識及び技能】 キャッチコピーが鑑賞者の感情にもたらす効果や、画面構成や色彩計画の効果を理解し、全体の表現の中で効果的に活用しているか。 画材の特性を生かし、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしているか。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞者に訴えかける主題を設定し、それを多くの人にアピールする創造的な表現の構想を練っているか。また造形的な魅力や美しさを感じ取り、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。				12
2 学 期	自分自身をテーマにした作品制作 イメージの自画像または ブックアートのどちらかを選択 ＜絵画、立体、デザイン、映像＞ 【知識及び技能】 パネルでの半立体表現やブックアートの制作方法を教える。 材料や用具の特性を生かし、適切な場所に適切な表現方法を用いることができるよう導く。 【思考力、判断力、表現力等】 魅力的な主題を生成し、効果的な表現方法を構想するよう導く。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の参考作品を鑑賞し、その作品の魅力を自己の創造活動に取り入れるよう導く。	○美術学習の集大成として、自分自身を適切な表現方法で作品化できるように導く。 ○様々な表現方法の作品を紹介し、表現の多様さを教える。 ○最後の作品にふさわしい、自分らしい作品の構想を練るよう導く。 ○適切な画材を選択し、それぞれの効果的な使用方法を教える。 ○創造の苦しさ、楽しさを体験し、自信と達成感を味わい、将来も美術を愛好していく心情を養うよう導く。 ○講評会を通して、作者の制作意図を理解させる。完成度の高い作品づくりの追究ができたか自己を振り返るよう導く。					【知識及び技能】 平面、半立体、本という表現手段が感情にもたらす効果や、それぞれの造形的な特徴などを理解しているか。 材料や用具の特性を生かし、適切な場所に適切な表現方法を用いて制作しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 魅力的な主題を生成し、効果的な表現形態や構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練っているか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。				14
3 学 期	トリックアート、映像表現についての制作体験 ＜版画、空想画＞ 【知識及び技能】 トリックアート、映像作品などがどのような方法で制作されるかを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの表現方法の特性を生かし、魅力的な主題を生成し、効果的な表現方法などについて構想するよう導く。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の作品を鑑賞し、作者の制作意図を汲み取り理解するよう導く。	○トリックアート、映像作品などの新しい美術の可能性について、現代作家の制作例を鑑賞し表現の多様さを教える。 ○簡単な作品の制作を体験し、美術表現の可能性を考えさせる。 ○他者の制作を鑑賞し、作者の表現意図を汲み取り創造活動の多様性を尊重する態度を養うよう導く。					【知識及び技能】 トリックアート、映像作品の成り立ちについて、基本的な制作過程を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの技法の特徴を生かした主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。				9 合計 35

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 芸術 科目 美術総合

教 科： 芸術

科 目： 美術総合

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組 (自由選択)

教科担当者：浜 順一郎

使用教科書：

教科 芸術

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造して

いく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各自の考えた問題設定から、感じ取ったこと考えたことなどを、表現形式の特性を生かして表現できるようにする。 作品制作を通じ、自己実現のために完成まで見直し計画する力を養う。	制作意図に応じて能動的に主題を設定し、材料や用具の特性を生かして構想を練ることができるようにする。 造形的な魅力や美しさを感じ取り、創造的な表現をめざす。	表現・鑑賞を通し、美的体験を豊かにし将来にわたり個性豊かで創造力豊かな人格を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	相当 時数
			絵・影	デ	映					
1 学期	課題Ⅰ ＜各自のテーマに沿った制作＞ ① 大学入試実技課題の制作 ② 美術Ⅰ・美術発展を踏まえた総合的発展的作品制作 【知識及び技能】 ① 大学入試実技課題で必要とされる技術・観察力・想像力を身に着ける。 ② 各自のテーマで課題設定し、それを表現するのに必要な知識技能を主体的に研究する。 【思考力、判断力、表現力等】 ① 実技課題が求める美術表現を具体的な作品に昇華させる方法を考え、計画的に制作する。 ② 各自の設定した課題を実現するために計画的に制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 ① 合格レベルに到達するまで、繰り返し根気よく課題に取り組む。他者の作品の良いところを学ぶ。 ② 作品の完成度を追求し、根気よく課題に取り組む。他者の作品の良いところを学ぶ。	○個別面談を通し、生徒個々が授業を計画する。 ○作品制作（①・②を選択）を通し、知識・技術を高める。 ○進捗状況を確認し、適切なアドバイスを行う。 ○講評会を通して、大学受験に必要な知識・技術を高める。 旺盛な制作意欲をもって授業に臨み、制作過程を通し完成度の高い作品づくりの追究ができたか自己を振り返る。	○	○	○	【知識及び技能】 ① 課題に必要な技術を身に着けるために研究し努力したか。対象をよく観察していたか。想像力を身に着けるために多くの作品を研究したか。 ② 各自の作品を実現するために、様々な作品を研究し、知識技能を身に着けようとしたか。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を実現するために、制作方法について研究し計画的に制作に取り組んだか。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の完成度を上げるために根気よく課題に取り組んだか。 他者の作品を鑑賞する中で、良いところを学び自己の作品に生かす姿勢があったか。	○	○	○	24
2 学期	課題Ⅱ ＜各自のテーマに沿った制作＞ ① 大学入試実技課題の制作 ② 美術Ⅰ・美術発展を踏まえた総合的発展的作品制作 【知識及び技能】 ① 大学入試実技課題で必要とされる技術・観察力・想像力を身に着ける。 ② 各自のテーマで課題設定し、それを表現するのに必要な知識技能を主体的に研究する。 【思考力、判断力、表現力等】 ① 実技課題が求める美術表現を具体的な作品に昇華させる方法を考え、計画的に制作する。 ② 各自の設定した課題を実現するために計画的に制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 ① 合格レベルに到達するまで、繰り返し根気よく課題に取り組む。他者の作品の良いところを学。 ② 作品の完成度を追求し、根気よく課題に取り組む。他者の作品の良いところを学ぶ。	○個別面談を通し、生徒個々が授業を計画する。 ○作品制作（①・②を選択）を通し、知識・技術を高める。 ○進捗状況を確認し、適切なアドバイスを行う。 ○講評会を通して、大学受験に必要な知識・技術を高める。 旺盛な制作意欲をもって授業に臨み、制作過程を通し完成度の高い作品づくりの追究ができたか自己を振り返る。	○	○	○	【知識及び技能】 ① 課題に必要な技術を身に着けるために研究し努力したか。対象をよく観察していたか。想像力を身に着けるために多くの作品を研究したか。 ② 各自の作品を実現するために、様々な作品を研究し、知識技能を身に着けようとしたか。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を実現するために、制作方法について研究し計画的に制作に取り組んだか。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の完成度を上げるために根気よく課題に取り組んだか。 他者の作品を鑑賞する中で、良いところを学び自己の作品に生かす姿勢があったか。	○	○	○	28
3 学期	講評会と追加課題 【知識及び技能】 1年間の制作を振り返り、不足していた技術や知識を学びなおす。 【思考力、判断力、表現力等】 講評会で指摘された問題について、どのように改善したらいいか検討する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の作品から学び、今後の作品制作に生かしていく。	○講評会を通して、大学受験に必要な知識・技術を高める。 旺盛な制作意欲をもって授業に臨み、制作過程を通し完成度の高い作品づくりの追究ができたか自己を振り返る。 ○不足した技術や知識を学びなおす。	○	○	○	【知識及び技能】 必要な技術を身に着けるために研究し努力したか。対象をよく観察していたか。想像力を身に着けるために多くの作品を研究したか。 【思考力、判断力、表現力等】 制作方法について研究し計画的に制作に取り組み実現できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 根気よく課題に取り組んだか。 他者の作品を鑑賞する中で、良いところを学び自己の作品に生かすことができたか。	○	○	○	18 合計 70

国立 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 4 組

教科担当者： （ 1～ 4 組： 齊藤美 ）

使用教科書： （ 書道Ⅰ 東京書籍 ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数				
			漢 仮	漢	仮										
1 学 期	書写から書道へ 【知識及び技能】 ・書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認する。 ・書写能力を向上させるとともに、目的や用途に即した効果的な表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書写で学習した基本的な用筆・運筆、字形、全体構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 書道の授業について 書写の学習を思い出して ・教材→教科書・書道用具 等				○	○	【知識・技能】 ●知識 共通事項 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ●技能 書写能力を向上させるとともに、目的や用途に即した効果的な表現の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 【表現・鑑賞】書写で学習した基本的な用筆・運筆、字形、全体構成について構想・工夫し、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、国語科書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。				○	○	○	4
	漢字の書(楷書) 【知識及び技能】 ・古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり、用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷について理解する。 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 漢字の書(楷書) 「牛橛造像記」他 ・教材→教科書・書道用具 等				○	○	【知識・技能】 ●知識 共通事項 【表現】古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり、用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷について理解している。 ●技能 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考・判断・表現】 【表現】古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 【表現】主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				○	○	○	12
	漢字の書(行書) 【知識及び技能】 ・古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 漢字の書(行書) 「蘭亭序」他 ・教材→教科書・書道用具 等				○	○	【知識・技能】 ●知識 共通事項 【表現】古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ●技能 行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考・判断・表現】 【表現】古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】				○	○	○	8

						【表現】主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				
2 学 期	漢字の書(行書) 上記「漢字の書(行書)」参照	・指導事項 漢字の書(行書) 「蘭亭序」他 ・教材→教科書・書道用具 等				上記「漢字の書(行書)」参照				8
	篆刻 【知識及び技能】 ・古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり、篆刻の用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解する。 ・篆書の古典の基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 ・篆刻の技法を理解し、運刀の基礎を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・篆刻の技法を学び、意図に基づいて表現を構想し工夫する。 ・生活や社会における書の効用について考え、書を立体化することによる刻線のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 漢字の書(篆書) 「泰山刻石」 篆刻 ・教材→教科書・書道用具 等				【知識・技能】 ●知識 共通事項 【表現】古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり、篆刻の用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ●技能 篆書の古典の基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 篆刻の技法を理解し、運刀の基礎を身につけている。 【思考・判断・表現】 【表現】篆刻の技法を学び、意図に基づいて表現を構想し工夫している。 【鑑賞】生活や社会における書の効用について考え、書を立体化することによる刻線のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 【表現】主体的に篆刻の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】主体的に篆刻の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				10
	仮名の書 【知識及び技能】 ・線質や書風と用筆・運筆との関わり、用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。 ・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 仮名の基本 「蓬莱切」他 ・教材→教科書・書道用具 等				【知識・技能】 ●知識 共通事項 【表現】線質や書風と用筆・運筆との関わり、用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 ●技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 【表現】仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 【表現】主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				10
3 学 期	漢字仮名交じり書・くらしの中の書 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解する。 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 漢字仮名交じり書 くらしの中の書 ・教材→教科書・書道用具 等				【知識・技能】 ●知識 共通事項 【表現】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。 ●技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 【表現】漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 【鑑賞】創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 【表現】主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				8
	漢字の書(楷書) 上記「漢字の書(楷書)」参照	・指導事項 漢字の書(楷書) 「自書告身」他 ・教材→教科書・書道用具 等				上記「漢字の書(楷書)」参照				10 合 計

〔共通事項〕

- ・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。
- ・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。

国立 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道発展

教 科： 芸術 科 目： 書道発展 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 4 組

教科担当者： （ 1～4 組： 斉藤美 ）

使用教科書： （ 教育図書 書Ⅱ ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道発展 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
	漢字の書(草書) 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書的美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・草書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・草書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・草書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・創造的な表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 漢字の書(草書) 「十七帖」他 ・教材→教科書・書道用具 等					【知識・技能】 ●知識 共通事項 〔表現〕漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書的美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ●技能 草書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 〔表現〕草書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕草書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 〔表現〕主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				5
1 学 期	臨書作品制作 【知識及び技能】 ・漢字・仮名の書を構成するさまざまな要素や、古典・古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書的美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・古典・古筆に基づく効果的な表現の技能、変化や調和、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまでの学習を踏まえ、各書体の古典・古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・古典・古筆の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・創造的な表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 これまでの学習を生かし 画仙紙(半切)での臨書作品 の制作 ・教材→教科書・書道用具 等					【知識・技能】 ●知識 共通事項 〔表現〕漢字・仮名の書を構成するさまざまな要素や、古典・古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書的美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ●技能 古典・古筆に基づく効果的な表現の技能、変化や調和、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 〔表現〕これまでの学習を踏まえ、各書体の古典・古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕古典・古筆の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 〔表現〕自身の表現の意図に基づく表現、各書体等の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。				7

[illegible]

